守り・伝える・文化財 ③

県重要文化財　木造宝冠阿弥陀仏坐像　像高110cm

指定　平成7年　本郷町南方

本郷町南方の旧国道（西国街道）沿いに大日堂というお堂があり、本尊は宝冠阿弥陀仏坐像という大変珍しい仏像です。本来、如来像は袈裟と裳を身にまとうだけで、他には一切、荘厳具をつけません。しかし、この仏像は頭に立派な冠をかぶっていることから、宝冠阿弥陀仏と呼ばれています。榧の大木から彫りだした一木造りで、朱（紅頗梨色）の衣を通肩にまとい、両掌は膝の前で重ねる阿弥陀の定印を結び、座禅を組む座り方である結跏趺坐をしています。柔らかいまなざしの親しみやすい素朴な姿です。

我が国の宝冠阿弥陀仏は11・12世紀のものが多い中で、本像は、その様式から10世紀前半の作で、奈良の当麻寺の宝冠阿弥陀如来坐像（国重要文化財）に続き、古い仏像といわれています。

両脇の不動明王像、毘沙門天像とともに平成2年に本郷町指定重要文化財になり、その後、本像は平成7年に県指定重要文化財になりました。

「大日如来といわれていましたが、調査で阿弥陀如来であることが分かりました」と語るのは地元で大日堂の維持・管理を続けている尾原相談会代表の柄崎照夫さん。緑青の色が落着いた、文政2年（1819年）の銘のあるかねつき堂の釣鐘について「昭和初期の大干ばつのとき、困った村人たちは大日堂に集まり、相談をしたそうです。鐘を尾原川に運び、せきの下を掘り、わずかなわき水につけて雨乞いをしたら、待ち望んだ雨がとうとう降ったそうです」と話してくれました。

柄崎　照夫さん
（本郷町南方）

「盆と正月は、地域のお客さんでにぎやかですよ」

市民憲章

わたしたちは、海・山・空夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

一　豊かな自然をいかし、美しいまちにしましょう。
一　歴史と文化を大切にし、人をはぐくむまちにしましょう。
一　みんなで助け合い、人がふれあうまちにしましょう。
一　心もからだも健康で、明るいまちにしましょう。
一　楽しく働き、活力あるまちにしましょう。

県美展の作品を募集

搬入受付日時　5日（火）10時～18時
搬入場所　本郷生涯学習センター
搬入方法　開催要項（観光文化課、市民ギャラリー、各支所地域調整課、中央公民館、本郷生涯学習センターに用意）に必要事項を記入し、作品と5,500円（出品料、送料）を合わせて提出

●県美展の開催
とき　7月25日(水)～29日(日)　10時～18時
ところ　リージョンプラザ展示ホール
問い合わせ先　観光文化課（☎0848㊲6015 FAX0848㊹4103）

税の納期

◎市県民税普通徴収(第1期)
納期限　7月2日(月)
※納税通知書は今月初旬に発送します。
※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あ・と・が・き

取材って何をすればいいの？4月に秘書広報課に異動になって、まず疑問に感じたことでした。イメージでは、カッコよく写真を撮ってカッコよくインタビューをしてと思うのですが、そんなことは出来るはずもなく、たくさん撮った写真の中にいいものはない、せめてコメントだけはと意気込んでみても記者さんの後ろでうなずくだけという日々が続いています▼そんな私も先日、取材で里山の自然観察会に行ってきました。表紙の写真はそのときのもので、参加した皆さんは私より年齢が上のはずなのに、足取りは軽く元気でした。今回の観察会では、大和の白竜湖畔などを散策しましたが、三原にはまだまだたくさんいい所があります。自然に触れ合うことで、自然を見つめ直すきっかけになると思います。皆さんも環境マップをもって里山の散策に出かけてみませんか。（は）

三原市の人口

（4月30日現在）

世帯数	43,465世帯	(＋343)
人　口	105,022人	(－283)
男	50,402人	(－ 61)
女	54,620人	(－222)

（　）内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行／三原市秘書広報課（〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号　☎0848㊲6007）　毎月1日発行
「広報みはら」は市役所1階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきしろロビーの窓口にも備えています。点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。